

大阪歯界広報

一般社団法人 大阪府歯科医師会
大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27
電話06(6772)8888 www.oda.or.jp
毎月1回5日発行
発行人・木田 友信

751

近北地区歯 難局に一致して対応

医療問題など活発に議論

平成27年度近北地区歯・連盟役員合同連絡協議

8月29日(土)午後2時から、富山国際会議場において平成27年度近畿北陸地区歯科医師会・歯科医師連盟役員合同連絡協議会が開催された。

冒頭、当番県の山崎安 副会長、高橋英登日歯連 仁富山県歯会長は、「アベノミクスの影響で一部には景気の良い状況もみられるが、医療界、とりわけ歯科界はたいへん厳しい状態が続いている。政府は社会保障費の抑制を謳っているが、次期診療報酬改定において日歯はしっかりと対応していただきたい」と挨拶した。

協議 事業年度、時局問題など

1. 役員任期と事業年度の関係
2. 地域包括ケアシステムの構築に向けて国の施策が進められ、都道府県や郡市区の歯科医師会と地方行政との連携が増々重要になる中、新法人移行後、役員任期と事業年度との間に乖離が生じ、会務運営に多大な支障をきたしている。事業年度と役員任期を一致させることのできるよう、日歯から、任期の定め方の特例扱いを国へ要望いただきたい。

浅野日歯専務理事

この問題は専門の弁護士とも相談し、どのような方法があるのか、どのような方法があるのかを今後検討し、解決できる方向にもっていきたいと考えている。

2. 時局問題

■次期診療報酬改定 遠藤日歯常務理事

我々としては、もちろん今の技術料に満足しているわけではない。様々な設備投資や患者さんの安全のための経費もかかるので、当然診療報酬のアップを求めている。しかし最終的な改定率は政治的な決定である。また薬価引き下げ分を財務省

は国庫に入れるとして、その後、浅野正樹日歯専務理事による日歯報告、家田隆弘日歯連盟理事長による日歯連盟報告が行われ、協議へと移った。

■患者申出療養 牧野大阪府歯副会長

患者申出療養について、歯科分野ではどのような医療技術が追加されるか、厚労省に問い合わせたところ、「今のところイメージされるものはないが、出てきた時のために入れ物を使えるようにしてある」との回答であった。だから歯科にはあまり関係がないのかというところ、患者申出療養はもとも選択療養として問題提起されたものであり、この選択療養という文言は規制改革会議の中で出てきたもので、混合診療全面解禁の考えが根本にあるので、この件はTPPや特区と同様に今後も注視していかねばならない。

■マイナンバー制度 小泉日歯常務理事

地域連携については基本的に三師会協同で進めているが、医療等IDを含む地域医療のIT化は簡単には進まないと考えられ、アナログの手帳を使いながらIT化を同時進行でやっていくという形である。マイナンバー制度と医療IDの関連はまだ何も決まっておらず、一からの状態である。しかし医師会は医療IDに積極的である。

続いて「地域医療介護総合確保基金」への対応について情報交換が行われる予定であったが、分科会で十分、情報交換が行われたとして、協議会では割愛された。

協議を受けて、役員合同連絡協の総意を伝えるため要望書を取りまとめ、日歯・日歯連盟に提出することとなった。

なお、協議会に先立ち、9つの分科会及び会長・専務理事会が開催された。

8月26日 厚労省は自民党厚生労働部会で、一般会計総額を30兆6,675億円とする平成28年度予算概算要求の内容を明らかにした。総額で平成27年度予算比2.5%増。医療・年金などの社会保障費の自然増として、700億円を計上した。骨太の方針2015や成長戦略改訂版などを踏まえた諸課題に充当する「新しい日本のための優先課題推進枠」として2,252億円を盛り込んだ。また、「歯科口腔保健の推進」として14億6,100万円を計上した。

8月28日 厚労省は社会保障制度改革をテーマに平成25年7月に実施した国民の意識調査の結果を発表した。対象は20歳以上の男女で、有効回答数は1万138人。今後充実させべき社会保障分野を選択式(3つまで複数回答可)で尋ねたところ、「老後の所得保障(年金)(64.5%)」に続き、「高齢者医療や介護(51.7%)」、「医療保険・医療供給体制など(40.6%)」、「子ども・子育て支援(36.6%)」が上位に挙げられた。

社会保障制度を維持するための財源については「どちらかと言えば税で賄うべき(38.4%)」、「税で賄うべき(21.1%)」と、税を希望する声(6割近く)を占めた。

8月29日 近畿北陸地区歯科医師会・歯科医師連盟役員合同連絡協議会が富山国際会議場で行われた。

9月3日 厚労省は平成26年度の概算医療費の集計結果を発表した。総額約40,0兆円(39兆9,556億円)と前年度に比べ約0.7兆円増加し、過去最高額を12年連続で更新した。伸び率は平成25年度の2.2%増から1.8%増に縮小した。医療機関種類別みると、医科は29.8兆円(1.5%増)、歯科は2.8兆円(2.9%増)、保険薬局は7.2兆円(2.3%増)だった。

9月10日 日歯第180回臨時時代議員会が開催された。

9月11日 社会保障審議会医療保険部会は、平成28年度診療報酬改定に向けた基本方針について議論し、基本的な認識や改定の視点などに関する厚労省案を大筋で了承した。基本認識として、▽国民一人一人の状態に応じた質が高く効率的な医療の実現など超高齢社会における医療政策の基本方向▽地域包括ケアシステムと効率的で質の高い医療提供体制の構築▽医療資源の効率的な配分と適切な医療経営の確保など経済・財政との調和の3点を挙げた。

9月16日 「地域医療連携推進法人」の新設を柱とした地域の改正医療法が参議院本会議で可決、成立した。新法人は、高齢化に対応した地域医療体制の構築が求められる中、病床再編や在宅医療充実に向け各医療機関の連携や役割分担を促すが狙い。



近北地区歯・連盟役員合同連絡協で挨拶する山崎富山県歯会長

議長・副議長を選出

日歯第180回臨時時代議員会

9 - 10

9月10日(木)午後2時から日歯第180回臨時時代議員会が日歯会館で開催され、議長に島田 篤氏(埼玉県)、副議長に豊嶋 健治氏(香川県)を選出した。

高木会長挨拶(要旨) 6月に「骨太の方針2015」が閣議決定されたが、デフレからの脱却と経済再生・財政健全化が最優先課題である。同時に社会保障制度につ



日歯第180回臨時時代議員会で挨拶する高木会長

過去2度も廃案になった「改正労働者派遣法」が9月11日に成立、30日施行された。企業は人を替えれば派遣社員を使い続けることができるので、派遣社員は3年ごとに職を失う危険があり、益々非正規労働者の固定化を招くだろう。強硬採決ではなかったが3度も同じ法案を提出するのは「何がなんでも」という強硬姿勢が見取れる。

そして9月19日には完全保障関連法案の事実上の強硬採決が行われた。



主張

世論調査では多くの人が「議論が尽くされていない」と感じる中で、判決は強引なやり方そのものか、派遣社員は3年ごとに職を失う危険があり、益々非正規労働者の固定化を招くだろう。強硬採決ではなかったが3度も同じ法案を提出するのは「何がなんでも」という強硬姿勢が見取れる。

安倍政権は「日本を世界で一番企業が活動しやすい国」にするの方針を打ち出している。派遣

強引な手法

労働の規制緩和をはじめ、政府による企業支援を柱に据えた「成長戦略」は小泉内閣時代の「構造改革」と同じ路線である。かつて改革の名のもとで行われた規制緩和は大量の非正規労働者を生み出し、勤労者全体の報酬の減少をもたらした。アベノミクスにより株価は上昇し、大手金融機関、大半を占める中小企業で働く人々や非正規雇用の人

得、一部の富裕層は株高(乱高下はあるものの)を柱に据えた「成長戦略」等による資産の高騰により、高額商品の購買が増加するという結果になった。また一部の輸出関連企業は円安の恩恵を受け、収益を大幅に伸ばし、それら企業の社員の収入も増えている。

一方、日本の企業の大

た。また、特別委員会委員が選出された。(別掲) 協議における質疑では、代議員から「日本病院会が歯科衛生実地指導料を医師の指示の下で算定できるように厚労省に要望している」とし、執行部の対応を聞いた。浅野正樹専務理事は「厚労省に確認したところ、法律を変えない限り無理との回答を得ている。日歯としては病院に歯科医師を配置してほしい。できな

いた。また、特別委員会委員が選出された。(別掲) 協議における質疑では、代議員から「日本病院会が歯科衛生実地指導料を医師の指示の下で算定できるように厚労省に要望している」とし、執行部の対応を聞いた。浅野正樹専務理事は「厚労省に確認したところ、法律を変えない限り無理との回答を得ている。日歯としては病院に歯科医師を配置してほしい。できな

- 特別委員会委員の選出
- (1)予算決算特別委員会委員の選出
- 北海道・東北 佐藤 保(岩手県)
 - 関東 齋藤英生(千葉県)
 - 東京 山崎一男(東京都)
 - 東海・信越 阿部義和(岐阜県)
 - 近北 牧野利彦(大阪府)
 - 中国・四国 織田英正(高知県)
 - 九州 浦田健二(熊本県)
- (2)議事運営特別委員会委員の選出
- 北海道・東北 永田秀昭(山形県)
 - 関東 松井克之(神奈川県)
 - 東京 早速晴邦(東京都)
 - 東海・信越 松崎正樹(新潟県)
 - 近北 蓮池芳浩(石川県)

医療安全など意見を交換

平成27年度大阪府歯科医療関係団体懇談会

9 - 15



9月15日(火)午後4時から本会大ホールにおいて、大阪府歯科医療関係

団体懇談会が開催された。

昭和52年に初めて開催されてから、途切れた時期もあったが、40年近くになる。最近、医療機器に対しても安全対策、感染対策が強く求められるようになり、我々歯科医師の力だけではどうすることもできない問題が出ています。今日お集まりの皆様と力を合わせ、しっかりとした体制を組んで安心安全な歯科医療を提供し、府民の口腔衛生の向上に寄与したい。本日は忌憚のないご意見をいただきました。

次に、上山日本歯科用品商協同組合連合会副会長が挨拶を行い、出席者の紹介があった。

続いて、河村常務理事から学術講演会と学術講演会における商品展示について、また深田専務理事から第68回近畿北陸地区歯科医学大会、第20回大阪府歯科保健大会、大阪府歯科医師協同組合について報告があった。

その後、意見交換では、ユニット給水系の感染対策について議論が交わされ、深田専務理事から各メーカーに対して、診療所に掲示できるポスターやスタッフが理解し易いマニュアルの作成の要望があった。

活発な意見交換の後、川野副会長の閉会のことばで懇談会は終了した。

出席団体は以下の通り

日本歯科用品商協同組合連合会、近畿歯科用品商協同組合、日本歯科材料工業協同組合、サンスター株式会社、株式会社モリタ、株式会社ヨシダ、株式会社ジーシー、タカラヘルモント株式会社、株式会社松風、メディア株式会社、パナソニックデンタル株式会社、大阪府歯科技術士会、大阪府歯科衛生士会、大阪府歯科医師会、大阪府歯科医師連盟

軽減税率の導入を見送るとして、麻生財務相は「複数税率を入れることは面倒くさい」と発言した。これまで政府与党は、生活必需品に対し軽減税率の導入を検討してきたが、欧州各国で広く採用されている軽減税率ではなく、給付金をちらつかせた一律増税を目論んでいる。

財務省案の「日本型軽減税率制度」は「酒類を除く飲食料品の購入時に、マイナンバーカードに増税2%分にあたる「軽減ポイント」を付与する。そのポイント相当額を申告した納税者に還付することとした。面倒くさいことは消費者に押し付ける。当然カードやこのシステムの機器が無ければ、還付は受けられない。なお還付金には年4千円程度の上限を設定するという全く国民を馬鹿にしたような制度である。

さすがに、与党内からも異論が噴出し、ふりだしに戻り軽減税率も含めて再検討することになった。現在の日本は消費税の再増税をできる状況なのか。給付や還付などと論点をすり替えず、増税を凍結し減税や景気対策をするべきだ。



鏡 歯

中国・四国 是澤恵三(愛媛県)

九州 許斐義彦(長崎県) (敬称略)

実践的な実習も学ぶ

第41回歯科助手教育講習会

今回で41回目となる歯科助手(乙種第一)教育講習会が、8月23日(日)、29日(土)、30日(日)の3日間、



練習用AEDとマネキンを使用した救命講習

8-23・29・30

午前9時から午後6時まで、本会別館附属歯科衛生士専門学校各教室、実習室で実施された。初日の23日は、本会大ホールにおいて開講式が行われた後、里見講師より歯科医院における歯科助手の心得や、患者対応等の一般教養に関する重要性についての全体講義が行われた。続いて受講生は経験年数別に組分けされ、各講習に入った。

担当講師と講習内容は次の通り

岡田幸明(消毒と滅菌) 野木章平(歯科臨床概論、歯科材料薬品の取扱、共同動作の基本、保存修復のステップとその介助、歯周疾患治療とその介助) 宮田友晴(歯内療法とその介助、小児歯科プラール)

講習は概論的な座学以外にも、練習用AED(自動体外式除細動器)とマネキンを使用した救命講習など実践的な実習を織り交ぜて行われ、受講者は熱心に耳を傾けていた。

最終日の30日には、講習終了後の閉講式において受講者代表として1組

クコントロール) 山本 建(局所麻酔とその介助、観血処置とその介助、X線フィルムの現像及び管理) 田中一弘(清掃と保全、有床補綴の種類と器材準備とその介助、歯冠補綴とその器材準備) 里見和彦(歯科助手の心得、一般教養(以上、全体講義)、受付業務、社会保険の概要とその実務、救急処置) 講習は概論的な座学以外にも、練習用AED(自動体外式除細動器)とマネキンを使用した救命講習など実践的な実習を織り交ぜて行われ、受講者は熱心に耳を傾けていた。

第20回大阪歯科保健大会

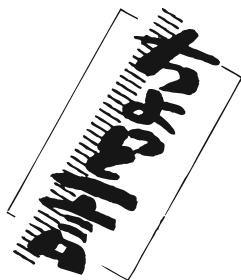
開催日 平成27年10月31日(土)

午後2時~

場所 大阪府歯科医師会館

※詳細は同封のリーフレットをご覧ください。

存在感



USNewsが2015年度の良いとされる職業ランキングを発表した。これは職業の成長率、給与、求人率、ストレスレベル、ワークライフバランス等を考慮したうえで決定されるもので、アメリカにおける良い職業1位は歯科医師であった。その理由は失業率が0.9%と低く、手取りの年収が平均16万4,570ドルと高いことが挙げられている。因みに2位は特定看護師、3位はソフトウェア開発者、4位に内科医、5位に歯科衛生士と続いている。歯科医師のトップ獲得はここ3年連続で、同国での歯科医師の地位の高さと人気ぶりがうかがえる。

一方、我が国における小学生のなりた職業ランキング(13歳のハローワーク 公式サイト調べ)では、1位グランドホステス、2位臨床心理士、3位金融業界となっており、メデイカル業界では、12位看護師、13位薬剤師、16位医師がランクされているが、残念ながら歯科医師は100位内には登場しない。両国間のあまりの差異がある。

少子・人口減少時代における小児歯科医療のあり方

大阪歯科大学小児歯科学講座 主任教授 有田憲司先生



講演する有田憲司先生

8-22

8月22日(土)午後3時から本会大ホールで、学術講演会が開催された。

河村常務理事の挨拶の後、大阪歯科大学小児歯科学講座主任教授の有田憲司先生により「少子・人口減少時代における小児歯科医療のあり方」と題した講演が行われた。少子・人口減少時代に突入した現在では、口腔疾患の治療を目的とした医療から、健康を支援する医療へシフトしていかなくてはならない。小児はそれまで口腔が健康であっても、発育中に予想外な種々の問題が生じる可能性がある。

ある。その問題は早期対応することで軽度で予後良好な医療が提供できることから、これからの小児歯科は地域の小児を管理する小児の総合歯科として存在していく必要があると述べた。また、社会の進歩につれ大人になるのに時間を要し、相対的に小児期が長くなっている。少子化で、かつ、う蝕が減少したとはいえ、小児歯科医療に対するニーズは増加しており、歯科医院を受診すべき子どもの多くは潜在したままであり、実は、小児を診る歯科医院や歯科医師数は不足しているといっても過言ではないと述べた。一方、少子・人口減少時代においては、社会による子育て支援が最重要課題であり、歯科医療においても、育児不安の理解者・子育て支援者としての視座につくことが求められると述べた。受講者は最後まで熱心に聴講していた。

力のコーディネーターとしてのDr、DHの役割

東京医科歯科大学臨床教授

東京医科歯科大学臨床研修医指導医 内山 茂先生

9-12

9月12日(土)午後3時から本会大ホールで、学術講演会が開催された。



講演する内山 茂先生

河村常務理事の挨拶の後、東京医科歯科大学臨床教授・臨床研修医指導医の内山茂先生により「力のコーディネーターとしてのDr、DHの役割」と題した講演が行われた。歯科のプロフェッショナルは、よく噛める口腔を作り上げたり維持したりする一方で、噛み過ぎることによって起こるさまざまなリスクに関する意識的でないければならず、それを怠ると、思いがけない臨床の落とし穴にまきこまれることになると述べた。「噛める」ことがかえって残存歯に過剰な負荷を与え、歯根の破折やセメント質剥離、さらには充填物・補綴物に衝撃を覚える。大人の考える良い職業と、子どものなりた職業とは単純に比較はできないが、競争原理の働かない職業の発展は期待できないし、あこがれのない職業に自信と誇りは持ちにくい。

われわれが口腔領域の専門家として国民の口腔の健康に貢献していることは言うまでもないが、生活の質に大きくかかわっていることをもつとアピールする必要がある。そのために、本会が推奨している多職種連携事業をはじめとするさまざまな場所に積極的に参加し、発言して、存在感のある職業であることを示すことが必要である。

代議員 (任期：平成27年7月1日～平成29年6月30日)



福島 口羽 浩司



都島 梅本 匡



都島 森永 昌義



大淀 木村 康裕



北 水沼 和夫



北 野口 秀夫



北 天羽 隆



北 守下 雅美



北 石崎 好洋



南 今岡 隆



南 新垣 善啓



東 木代 伸幸



東 上野 哲生



東 本城 範典



東 白山 善男



東 井阪 彰男



此花 橋本 武



福島 松本 実



天王寺 平田 哲也



天王寺 西本 達哉



大正 坂本 厚



港 丹田 博巳



西 榎田 雅之



西 中島 健



西 横石 篤始



南 千葉 和朗



南 松田 隆光



東淀川 堀 浩樹



淀川 森 光示



淀川 伊藤 公人



淀川 城村 幸治



淀川 久家 邦靖



西淀川 関口 成晴



西淀川 道家浩之介



浪速 長谷川貴一



浪速 吉川 正美



旭 巽 久宜



旭 吉田 誠孝



生野 友辺 芳明



生野 久米 康夫



生野 稲田 親昭



東成 松井 康彦



東成 多羅 福孝



東淀川 田路 雅彦



東淀川 久山 晃司



住之江 上田 芳男



阿倍野 金村 恵司



阿倍野 永井 克彦



阿倍野 金井 哲



鶴見 平井 久行



鶴見 大草 修



城東 福本 和夫



城東 中川 新二



城東 鹿谷 實



副議長 平野 竹森 康仁



東住吉 矢田 進



東住吉 森本 恭司



東住吉 荒木 康裕



住吉 杉本 晋一



住吉 西川 庄治



住吉 松岡 忠博



住吉 菅尾 泰典



住之江 浦野 一彦



池田 見野比左夫



池田 河島 保孝



箕面 長谷 貴雄



箕面 藤原 秀樹



西成 寺嶋 洋幸



西成 清水 永守



平野 西原 嘉男



平野 水井 雅則



平野 吉原 浩二



吹田 谷口 学



豊中 北谷 真



豊中 碓 裕至



豊中 真鍋 哲也



豊中 近藤 篤



豊中 加藤 隆正



豊中 沢田 好章



豊中 五條 房己



池田 北川 和男



摂津
杉本 均



茨木
榊井 今日子



茨木
福島 昭彦



茨木
森山 知是



茨木
別府 幸市



吹田
疋田 陽造



吹田
野中 優憲



吹田
井ノ内 順一



吹田
古川 哲郎



枚方
中野 文隆



枚方
村上 卓



枚方
中川 恒夫



高槻
小田 剛



高槻
上田 直克



高槻
森田 淳一



高槻
久保 正裕



高槻
藤田 毅



高槻
小宮山 章二



守口
高木 裕明



守口
岩崎 晴彦



寝屋川
生野 史朗



寝屋川
高橋 達行



寝屋川
垣内 邦昭



交野
奥田 忠嗣



枚方
尾川 善信



枚方
北野 純夫



枚方
岡 重人



東大阪西
小笹 憲雄



東大阪東
元島 泉



東大阪東
今井 直己



東大阪東
田幡 純



東大阪東
小川 清二



大東・四條畷
新井 敏之



大東・四條畷
栗橋 豊



門真
中嶋 滋教



門真
中塚 秀一



柏原
西村 忠重



八尾
賀田 益男



八尾
田中 高夫



八尾
山本 博之



八尾
馬谷 勝美



東大阪西
奥田 宗義



東大阪西
下池 敏之



東大阪西
鈴木 康之



東大阪西
鈴木 憲一



河内長野
牛嶋 洋



河内長野
中谷 勝彦



南河内
田中 孝治



富田林
後藤 裕司



富田林
内田 実



羽曳野
芝池 覚



松原
西本 桂三



松原
河村 忠成



藤井寺
上杉 久



堺
野口 勝司



堺
中村 好孝



堺
本山 浩司



堺
里見 和彦



議長 堺
中西 時彦



堺
藤田 日生



堺
八木 栄司



堺
阪田 昌英



堺
天津 了



和泉
辻本 輝



和泉
上嶋 一之



和泉
松尾 孝人



泉大津
貫野 恒和



高石忠岡
杉原 一彦



堺
田中 一弘



堺
栗田 智



堺
西村 有祐



堺
深野 英一



泉佐野泉南
岡本 考司



泉佐野泉南
小川 秀三



泉佐野泉南
岸村 廣二



貝塚
菅田 二郎



岸和田
谷口 馨



岸和田
金本 均



岸和田
杉本 進亮

学術講演会開催スケジュール

日 時	場 所	演 題 及 び 講 師
10月17日(土) 15:00~17:00	本会 大ホール	「宿主要因からのアプローチで歯科疾患予防！」 朝日大学歯学部長 朝日大学歯学部口腔感染医療学講座・社会口腔保健学分野 教授 磯崎 篤則
10月31日(土) 16:00~17:30	本会 大ホール	大阪歯科保健大会 会員対象講習会(日本糖尿病協会認定講習会) 「糖尿病と歯科治療」 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科顎顔面疾患制御学分野 教授 杉浦 剛

※ 講演会には日歯生涯研修 IC カードをご持参下さい。
 ※ 諸般の都合により、日程及び会場が変更になる場合があります。
 ※ 年間スケジュールについては本会ホームページ、歯科医師会雑誌9月号に掲載。

大阪府国民健康保険組合協議会(大協)加盟
国保組合被保険者への歯科健診に係る
組合名称変更について(お知らせ)

大阪府歯科医師会雑誌5月号14ページに記載のとおり、平成27年度も大阪府国民健康保険組合協議会(大協)加盟国保組合被保険者への歯科健診を実施いたしておりますが、平成27年11月1日付で一部組合名称が以下のとおり変更されますのでお知らせいたします。

変更前：大阪府たばこ国民健康保険組合
↓
変更後：関西たばこ国民健康保険組合

第34回日本小児歯科学会近畿地方会のご案内

テーマ「未来を担う子どもに素敵な笑顔を！」

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
 さて、第34回日本小児歯科学会近畿地方会及び総会を下記の要項にて開催します。
 会員の皆様をはじめスタッフの皆様方の奮ってのご参加をお願いします。 謹白
 記

大会期日 平成27年10月25日(日) 午前9時~午後4時30分
 会 場 大阪国際交流センター 近鉄上六・谷町線谷九下車すぐ
 大阪市天王寺区上本町8-2-6 Tel:06-6772-5931
 参 加 費 歯科医師5,000円 コ・デンタルスタッフ3,000円 学生・一般 無料
 (60%の託児補助金あり)
 特別講演 「子どものアレルギーは腸で治す」 消化器の摩訶不思議
 藤田 紘一郎 先生(東京医科歯科大学名誉教授)
 教育講演 「歯科治療と感染性心内膜炎—小児歯科医として必要な知識から最新の研究成果まで」
 仲野 和彦 先生(大阪大学教授)
 「食生活からの母子関係・子どもの未来を考える」
 根ヶ山 光一 先生(早稲田大学教授)
 コ・デンタルセミナー(認定歯科衛生士認定更新必須研修セミナー)
 「今さら聞けない基本から最新の予防法まで~隣接面齲蝕を考える~」
 桜井 敦朗 先生(東京歯科大学講師)
 ランチョンセミナー(昼食付き)
 「コンボジットレジン不思議な世界~見て・聞いて・考えて~」
 会員展示発表・認定医更新展示発表・専門医更新展示発表(総計43展示発表)
 商業展示(29社)
 後 援 大阪府・大阪府歯科医師会・大阪府歯科衛生士会
 担 当 大阪小児歯科専門医臨床研究会(OSP) <http://www.osp.ne.jp>
 大会長 吾妻 昭夫 準備委員長 金澤 真亨
 事務局 大阪市住之江区中加賀屋4-2-1(あづま小児歯科 内)
 Tel:06-6683-7575 Fax:06-6686-2737 e-mail: azuma.dc@gol.com

大阪府歯科医師会 提供

ラジオ番組のご案内

『聞いてナットク 歯科情報』

毎日放送 MBS ラジオ(1179kHz)「豊島・ゴエのあさはやっ!?」の番組内で、歯と口の健康を考えるコーナーを提供しています。ぜひ、お聴きください。
 放送日時 毎月第4土曜日
 午前7時20分頃 5分前後

第7回

10月24日(土) 午前7時20分頃

テーマ 「大阪歯科保健大会について」

出 演 大阪府歯科医師会 理事 辻坂 智矢

編集室

平成18年から保険外併用療養費制度として「評価療養」と「選定療養」が設けられた。この「評価療養」及び「選定療養」を受けたときには、療養の全体にかかる費用のうち基礎的部分については保険給付をし、特別料金部分については全額自己負担となる。そして平成28年から保険外併用療養の一つとして施行予定の「患者申出療養」をめぐり、患者団体から不安の声が出ているという。やはり混合診療の全面解禁につながる可能性も考えられ、今後も注視しなければならない。

地区歯科医師会
だより

富田林だんじり祭り—富田林歯科医師会

「へえ~。富田林にもだんじり祭りがあるんや~。岸和田だけかと思ってた」京都から移り住んできた私の第一印象です。

富田林といえば、高校野球で名をはせたPL学園の母体であるPL教団の花火大会が有名ですが、地元の方々に愛されているのは秋の「だんじり祭り」なのです。

毎年10月第2週もしくは第3週の土・日に行われる富田林の秋祭りは、岸和田のように町中をだんじりが滑走する豪快なお祭りとは一味ちがいが、祇園祭の山鉦を思わせる大きなだんじりでゆっくりと街中を練り歩きます。日曜日の昼には、各々のだんじりが地域の神社に五穀豊穡・家内安全・子孫繁栄を祈願して「だんじり」と「にわか」を奉納します。



富田林だんじり祭り

「にわか」とは、南河内のだんじり独特な、掛け合いによる寸劇ですが、関西らしく最後に必ず「落ち」がつくので、掛け合い漫才と言った方が様子が伝わりやすいかもしれません。

PL花火の時は、「近くでやるお祭りを見に行くねん」的な感じの町が、だんじりが近づく時は「みんなで盛り上げていくで~」的な感じになるのです。

20年たっても、よそ者感が抜けない私には浮足立つ町の雰囲気を楽しむ季節がまたやってきます。(R・S)

地区懇親旅行—大正区歯科医師会

去る9月5日(土)、6日(日)と大正地区懇親旅行に行ってきました。今年は15名の先生方が参加され、行き先は徳島県のエキシブ鳴門です。今回はなんと現地集合・現地解散です。

早く着いた先生はテニス・プールで一汗流し、いよいよ17時よりお待ちかねの宴会のスタートです。驚いたことに宴会場は別棟となり宿泊棟からバスで移動です(どんだけ広いねん)。美味しい料理に美味しいお酒、あっという間にラストオーダー。入会して早15年経ちましたが、大正地区は気さくな先生が多くて、こういったお酒の場も和気あいあいとしていて時間が経つのも忘れてしまいます。

一次会が終わり、そのまま二次会の会場までまたバスで移動です。二



全員集合!

次会ではカラオケなどを楽しみました。宿泊棟に戻る前にまたまたバスで移動し、大浴場へ(ほんまに広いな)。みんなで入るお風呂もこれまたいいもんです。

このように年に一度のとても楽しいひと時を過ごし、明日からの地域医療への活力を充電することができました。(Y・I)